

# 2019年3月期 決算説明資料

---

2019年5月28日

文化シヤッター株式会社

# 目 次

## P1 2019年3月期の実績について

- P2 事業環境
- P3 業績
- P4 売上高および営業利益の増減要因
- P5 セグメント別売上高および営業利益
- P6 売上高の用途別セグメント別分析

## P7 2020年3月期の見通しについて

- P8 事業環境予想
- P9 業績見通し
- P10 売上高および営業利益の増減要因
- P11 セグメント別状況

## P12 重点施策の進捗状況について

- P13 基幹事業の拡大① シャッター事業の強化
- P14 基幹事業の拡大② ドア・パーティション事業の強化
- P15 注力事業の強化① エコ&防災事業の強化
- P16 注力事業の強化② メンテナンス事業の強化
- P17 注力事業の強化③ ロングライフ事業の強化
- P18 注力事業の強化④ 海外事業の強化

## P19 トピックス

- P20 トピックス 新商品紹介

## P21 参考資料

- P22 文化シャッターグループ概要
- P23 文化シャッターグループの会社構成と海外事業展開
- P24 連結貸借対照表
- P25 連結キャッシュフロー計算書
- P26 シャッター関連製品の状況（単体）  
（重量シャッター、軽量シャッター、窓シャッター）
- P27 建材関連製品の状況（単体）  
（ドア、パーティション、エクステリア）

# 2019年3月期の実績について

---

	2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期	
	実績	伸率	実績	伸率	実績	伸率
民間企業設備投資 (実質) (百億円)	8,075	99.5%	8,442	104.5%	<b>8,712</b>	103.2%

新設住宅着工戸数 (万戸)	97.4	105.8%	94.6	97.2%	<b>95.2</b>	100.7%
非住宅着工床面積 (万㎡)	5,133	102.7%	5,331	103.9%	<b>5,101</b>	95.7%
工場 (万㎡)	828	93.6%	919	110.9%	<b>1,009</b>	109.8%
倉庫 (万㎡)	865	106.9%	989	114.2%	<b>876</b>	88.6%
医療・福祉 (万㎡)	736	106.4%	625	84.9%	<b>517</b>	82.8%
店舗 (万㎡)	561	92.8%	553	98.5%	<b>521</b>	94.3%
事務所 (万㎡)	668	109.2%	668	99.9%	<b>608</b>	91.1%

2019年3月期の民間企業設備投資は速報値

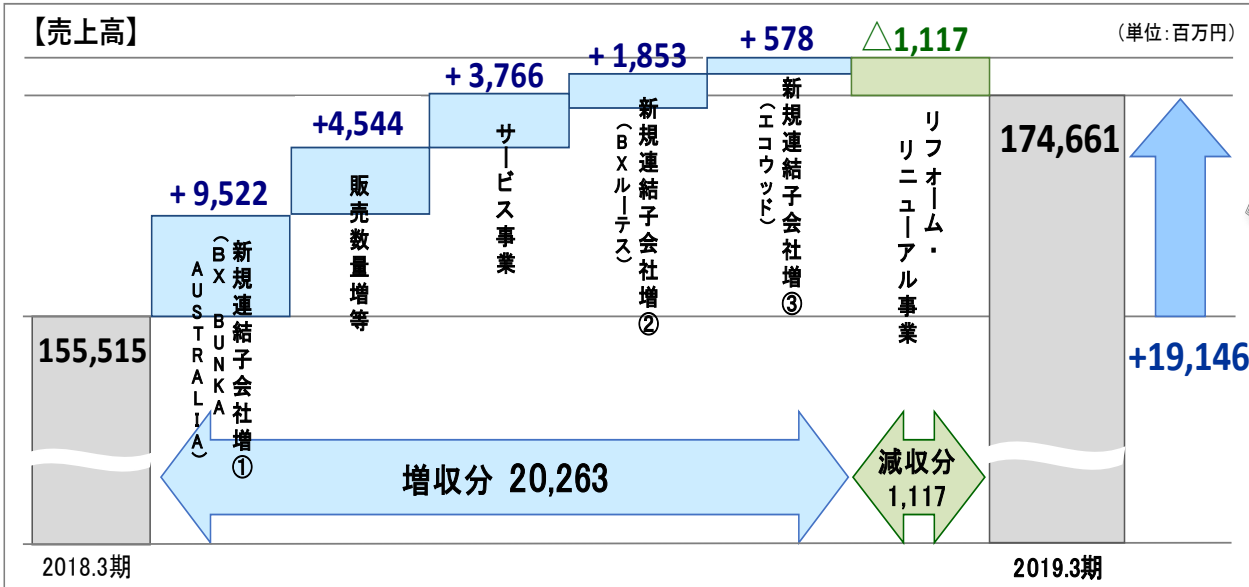
- ◆ 経済環境は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に景気は緩やかな回復基調が続いたが、大型台風や地震等の自然災害が発生した影響により、一時的に景況感は悪化した。また、世界経済における米中の貿易摩擦や中国経済の減速等、依然として先行き不透明な状況が続いた。
- ◆ 建築市場について、民間企業設備投資(実質GDP)は、2019年3月期の速報値で前期比3.2%増の87兆円に拡大する模様。  
新設住宅着工戸数は、前期比0.7%増の95万2,000戸、非住宅着工床面積(建築確認申請時点)は工場が増加したものの、倉庫、医療・福祉、店舗、事務所が減少したことで、前期比4.3%減の5,101万㎡と、前年を下回った。

(単位:百万円)

	2018年3月期		2019年3月期				
	実績	売上比	11月予想	実績	売上比	前期比	予想比
売上高	155,515	100.0%	<b>174,000</b>	<b>174,661</b>	100.0%	112.3%	100.4%
売上原価	115,447	74.2%	<b>128,800</b>	<b>128,574</b>	73.6%	111.4%	99.8%
売上総利益	40,068	25.8%	<b>45,200</b>	<b>46,087</b>	26.4%	115.0%	102.0%
販売費及び一般管理費	33,266	21.4%	<b>36,500</b>	<b>36,285</b>	20.8%	109.1%	99.4%
営業利益	6,801	4.4%	<b>8,700</b>	<b>9,801</b>	5.6%	144.1%	112.7%
経常利益	7,681	4.9%	<b>9,500</b>	<b>10,801</b>	6.2%	140.6%	113.7%
当期純利益	3,195	2.1%	<b>5,800</b>	<b>7,294</b>	4.2%	228.3%	125.8%
1株当たり配当金	20円		<b>20円</b>	<b>25円</b>		+5円	+5円
設備投資額	4,676		<b>3,500</b>	<b>3,255</b>		69.6%	93.0%
減価償却費	3,397		<b>4,000</b>	<b>3,967</b>		116.8%	99.2%
期末 従業員 (人)	正社員	4,478	<b>4,600</b>	<b>4,639</b>		161	39
	臨時雇用者	1,118	<b>1,160</b>	<b>1,163</b>		45	3
	合計	5,596	<b>5,760</b>	<b>5,802</b>		206	42

- ◆ 「売上高」は、当期より連結対象となったBX BUNKA AUSTRALIAとBXルーテスが寄与し、9期連続の増収で、過去最高売上。
- ◆ 「営業利益」は、要員増加と処遇改善等に伴うコストアップ分を、販売数量の増加と販売価格のアップ、さらには好調なサービス事業と新規連結子会社の業績寄与でカバーしたことにより、3期ぶりの増益。
- ◆ 「経常利益」は過去最高、「営業利益」と「当期純利益」は過去2番目に高い利益額。
- ◆ 「設備投資額」約32億円の主な内訳は、
  - ・設備の合理化・更新他で約18億円
  - ・子会社の新工場建設と設備の更新で約9億円
  - ・次期情報システムの開発費で約5億円
- ◆ 「1株当たり配当金」は5円増配の25円。

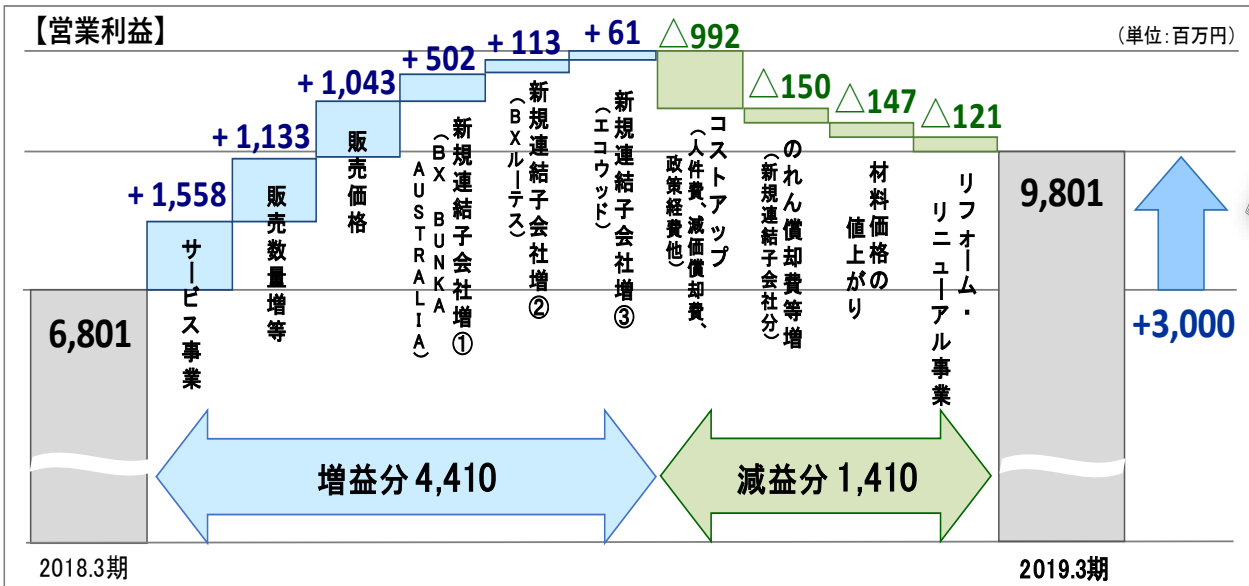
# 売上高および営業利益の増減要因



## ◆「売上高」の増減要因

増収要因は、「新規連結子会社の増加」、「販売数量増」、「サービス事業」が寄与。  
減収要因は、「リフォーム・リニューアル事業」が影響。

トータルで191億4,600万円の「増収」。



## ◆「営業利益」の増減要因

増益要因は、「サービス事業」、「販売数量増」、「販売価格アップ」、「新規連結子会社の増加」が寄与。

減益要因は、要員増加や働き方改革に伴う給与手当の増加などによる「コストアップ」、「のれん償却費等の増加」、「材料価格の値上がり」などが影響。

トータルで30億円の「増益」。

# セグメント別売上高および営業利益

(単位:百万円)

	2018年3月期		2019年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
シャッター関連製品事業	51,922 (51,600)	5,604 (5,120)	<b>64,608</b> (63,000)	<b>7,872</b> (6,850)
伸率	100.9%	82.6%	124.4%	140.5%
増減	477	△ 1,184	12,685	2,267
建材関連製品事業	71,892 (73,300)	1,727 (2,000)	<b>75,551</b> (76,600)	<b>1,155</b> (1,750)
伸率	110.1%	94.4%	105.1%	66.9%
増減	6,617	△ 102	3,658	△ 571
サービス事業	19,711 (19,500)	2,285 (2,500)	<b>23,477</b> (23,000)	<b>3,843</b> (3,200)
伸率	111.2%	116.7%	119.1%	168.2%
増減	1,985	327	3,766	1,558
リフォーム事業	8,072 (8,200)	207 (150)	<b>6,955</b> (7,000)	<b>86</b> (0)
伸率	103.5%	-	86.2%	41.7%
増減	275	406	△ 1,117	△ 121
その他事業	3,916 (3,900)	191 (280)	<b>4,069</b> (4,400)	<b>231</b> (200)
伸率	108.5%	76.8%	103.9%	120.8%
増減	306	△ 57	152	39
配賦不能額	-	3,214 (3,200)	-	3,386 (3,300)
合計	155,515 (156,500)	6,801 (6,850)	<b>174,661</b> (174,000)	<b>9,801</b> (8,700)
伸率	106.6%	93.4%	112.3%	144.1%
増減	9,660	△ 479	19,146	3,000

( )は直近予想数字

- ◆「シャッター関連製品事業」は、国内においては重量シャッターおよび軽量シャッターが好調に推移したことで、新規連結子会社分としてオーストラリアにおけるガレージドアの売上が寄与し、「増収増益」。
- ◆「建材関連製品事業」は、新規連結子会社分としてBXルーテスとエコウッドの増加が寄与した一方で、主に医療・福祉施設向け引き戸の減少などにより、「増収減益」。
- ◆「サービス事業」は、主に災害対応によるシャッターの修理売上と、法定点検の売上が増加したことにより、「増収増益」。
- ◆「リフォーム事業」は、住宅リフォーム業界における競争激化の影響と、ビルリニューアル事業の受注の減少により、「減収減益」。
- ◆「その他事業」は、止水商品の売上が堅調に推移したことなどにより、「増収増益」。

# 売上高の用途別セグメント別分析

(単位:億円)

製品・事業群	用途	合計	工場・倉庫	オフィスビル・公共施設	医療福祉・学校	商業施設	住宅その他
<b>増収額</b>		<b>191.5</b>	<b>28.7</b>	<b>24.4</b>	<b>△ 2.4</b>	<b>4.0</b>	<b>136.8</b>
<b>売上高</b>		<b>1,746.6</b>	<b>399.4</b>	<b>215.7</b>	<b>183.8</b>	<b>107.3</b>	<b>840.4</b>
<b>シャッター関連製品事業計</b>	増収額	<b>126.9</b>	<b>20.4</b>	<b>8.7</b>	<b>△ 0.8</b>	<b>2.6</b>	<b>96.0</b>
	売上高	<b>646.1</b>	<b>248.3</b>	<b>48.2</b>	<b>21.3</b>	<b>43.8</b>	<b>284.5</b>
軽量シャッター群	増収額	<b>20.9</b>	<b>11.6</b>	<b>2.7</b>	<b>0.0</b>	<b>1.4</b>	<b>5.2</b>
	売上高	<b>178.3</b>	<b>72.3</b>	<b>11.7</b>	<b>2.8</b>	<b>12.6</b>	<b>78.9</b>
重量シャッター群	増収額	<b>107.9</b>	<b>4.7</b>	<b>4.7</b>	<b>0.0</b>	<b>1.8</b>	<b>96.7</b>
	売上高	<b>353.8</b>	<b>151.0</b>	<b>27.8</b>	<b>10.5</b>	<b>23.0</b>	<b>141.5</b>
窓シャッター群	増収額	<b>△ 4.2</b>	-	-	-	-	<b>△ 4.2</b>
	売上高	<b>49.7</b>	-	-	-	-	<b>49.7</b>
シャッター関連群	増収額	<b>2.3</b>	<b>4.1</b>	<b>1.3</b>	<b>△ 0.8</b>	<b>△ 0.6</b>	<b>△ 1.7</b>
	売上高	<b>64.3</b>	<b>25.0</b>	<b>8.7</b>	<b>8.0</b>	<b>8.2</b>	<b>14.4</b>
<b>建材関連製品事業計</b>	増収額	<b>36.6</b>	<b>4.1</b>	<b>0.8</b>	<b>△ 8.2</b>	<b>△ 1.5</b>	<b>41.4</b>
	売上高	<b>755.5</b>	<b>78.6</b>	<b>104.6</b>	<b>137.5</b>	<b>31.4</b>	<b>403.4</b>
エクステリア群	増収額	<b>10.6</b>	-	-	-	-	<b>10.6</b>
	売上高	<b>91.1</b>	-	-	-	-	<b>91.1</b>
ドア・パーティション群	増収額	<b>14.1</b>	<b>4.1</b>	<b>0.8</b>	<b>△ 8.2</b>	<b>△ 1.5</b>	<b>18.9</b>
	売上高	<b>482.3</b>	<b>78.6</b>	<b>104.6</b>	<b>137.5</b>	<b>31.4</b>	<b>130.2</b>
その他建材製品群	増収額	<b>11.9</b>	-	-	-	-	<b>11.9</b>
	売上高	<b>182.1</b>	-	-	-	-	<b>182.1</b>
<b>サービス事業計</b>	増収額	<b>37.7</b>	<b>3.6</b>	<b>13.7</b>	<b>6.9</b>	<b>1.5</b>	<b>12.0</b>
	売上高	<b>234.8</b>	<b>65.0</b>	<b>56.4</b>	<b>21.4</b>	<b>28.0</b>	<b>64.0</b>
<b>リフォーム事業計</b>	増収額	<b>△ 11.2</b>	-	-	-	-	<b>△ 11.2</b>
	売上高	<b>69.5</b>	-	-	-	-	<b>69.5</b>
<b>その他事業計</b>	増収額	<b>1.5</b>	<b>0.6</b>	<b>1.2</b>	<b>△ 0.3</b>	<b>1.4</b>	<b>△ 1.4</b>
	売上高	<b>40.7</b>	<b>7.5</b>	<b>6.5</b>	<b>3.6</b>	<b>4.1</b>	<b>19.0</b>

- ◆ 増収額191億5,000万円を用途別で見ると、「住宅その他」「工場・倉庫」「オフィスビル・公共施設」向けが牽引。
- ◆ 「工場・倉庫」向けは、シャッター関連製品事業が牽引し、28億7,000万円の「増収」。
- ◆ 「オフィスビル・公共施設」向けは、サービス事業とシャッター関連製品事業が牽引し、24億4,000万円の「増収」。
- ◆ 「医療福祉・学校」向けは、サービス事業が牽引したものの、ドア・パーティション群の減少により、2億4,000万円の「減収」。
- ◆ 「商業施設」向けは、シャッター関連製品事業とサービス事業が堅調に推移し、4億円の「増収」。
- ◆ 「住宅その他」向けは、リフォーム事業の落ち込みを新規連結子会社の「BX BUNKA AUSTRALIA」と「BXルーテス」がカバーし、136億8,000万円の「増収」。



# 2020年3月期の見通しについて

---

【事業環境】	2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期	
	実績	伸率	実績	伸率	予想	伸率
民間企業設備投資 (実質) (百億円)	8,442	104.5%	8,712	103.2%	<b>8,880</b>	101.9%
新設住宅着工戸数 (万戸)	94.6	97.2%	95.2	100.7%	<b>92.7</b>	97.3%
非住宅着工床面積 (万㎡)	5,331	103.9%	5,101	95.7%	<b>5,101</b>	100.0%
工場 (万㎡)	919	110.9%	1,009	109.8%	<b>1,019</b>	101.0%
倉庫 (万㎡)	989	114.2%	876	88.6%	<b>876</b>	100.0%
医療・福祉 (万㎡)	625	84.9%	517	82.8%	<b>517</b>	100.0%
店舗 (万㎡)	553	98.5%	521	94.3%	<b>511</b>	98.1%
事務所 (万㎡)	668	99.9%	608	91.1%	<b>608</b>	100.0%

新設住宅着工戸数と非住宅着工床面積は、(一財)建設経済研究所のデータを参考に試算

【売上構成比】	2018年3月期	2019年3月期
住宅向け	38.3%	40.4%
非住宅向け	61.7%	59.6%

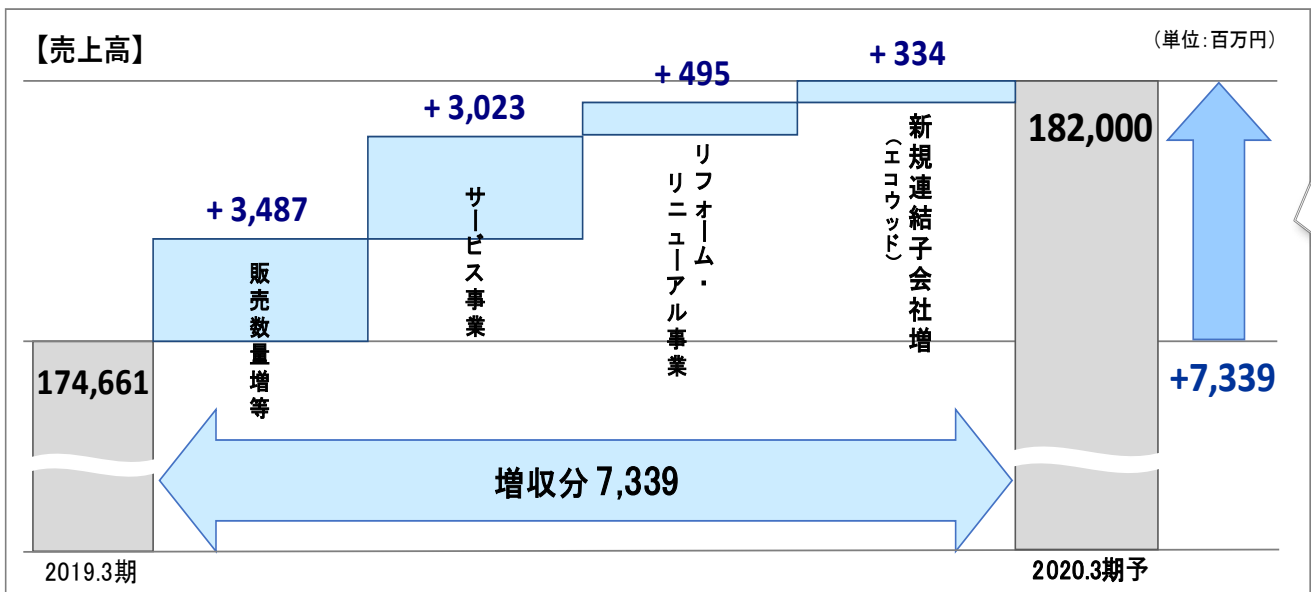
- ◆ 経済環境は、海外経済における米中貿易摩擦、国内経済における人材不足や消費税増税等により、景気は先行き不透明な状況が続くものと予想。  
その一方で、個人消費は緩やかながら回復基調が継続すると期待され、当業界においても東京オリンピック・パラリンピックの開催など都市圏を中心とした建築需要の増加が見込まれる。
- ◆ 建築市場について、民間設備投資(実質GDP)は、前期比1.9%増の88兆8,000億円を予想。  
新設住宅着工戸数は、民間住宅建設投資が減少する見通しにより、前期比2.7%減の92万7,000戸を予想。  
非住宅着工床面積は、前期と横ばいの5,101万㎡で推移すると予想。

(単位: 百万円)

	2019年3月期		2020年3月期			
	通期実績	売上比	通期予想	売上比	前期比	
					伸率	増減
売上高	174,661	100.0%	<b>182,000</b>	100.0%	104.2%	7,339
売上原価	128,574	73.6%	<b>134,700</b>	74.0%	104.8%	6,126
売上総利益	46,087	26.4%	<b>47,300</b>	26.0%	102.6%	1,213
販売費及び一般管理費	36,285	20.8%	<b>37,300</b>	20.5%	102.8%	1,015
営業利益	9,801	5.6%	<b>10,000</b>	5.5%	102.0%	199
経常利益	10,801	6.2%	<b>11,000</b>	6.0%	101.8%	199
当期純利益	7,294	4.2%	<b>7,300</b>	4.0%	100.1%	6
1株当たり配当金	25円		<b>25円</b>		-	-
設備投資額	3,255		<b>3,500</b>		-	245
減価償却費	3,967		<b>4,300</b>		-	333
期末従業員 (人)	正社員	4,639	<b>4,800</b>		-	161
	臨時雇用者	1,163	<b>1,180</b>		-	17
	合計	5,802	<b>5,980</b>		-	178

- ◆ 「売上高および営業利益」  
売上高は73億3,900万円増の1,820億円、営業利益は1億9,900万円増の100億円を予想。
- ◆ 「設備投資額35億円の内訳」  
・設備の合理化・更新他で約29億円  
・次期情報システムの開発費で約6億円
- ◆ 「1株当たり配当金」  
上期12.5円、下期12.5円の通期25円を予定。

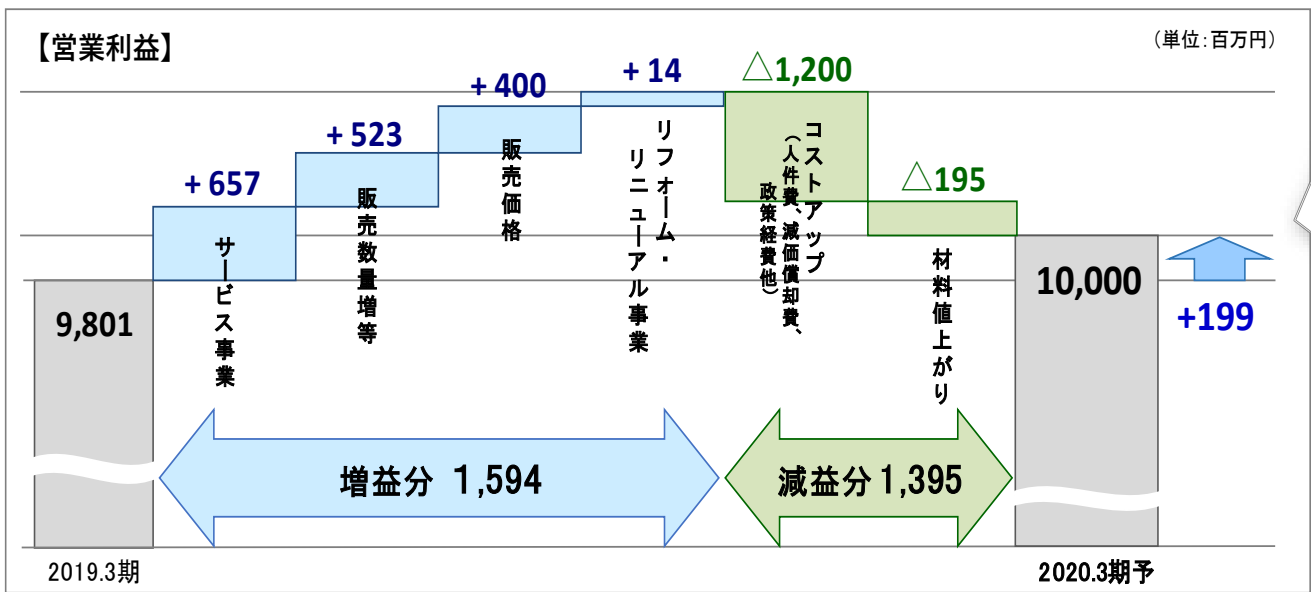
# 売上高および営業利益の増減要因



## ◆「売上高」の増減要因

増収要因は、「販売数量の増加」、「サービス事業」など。

トータルで73億3,900万円の「増収」を見込む。



## ◆「営業利益」の増減要因

増益要因は、「サービス事業」、「販売数量の増加」、「販売価格アップ」など。

減益要因は、処遇改善に伴う給与手当の増加や取付経費の増加などの「コストアップ」と「材料価格の値上がり」など。

トータルで1億9,900万円の「増益」を見込む。

(単位:百万円)

【売上高】	2019年3月期						2020年3月期					
	上期実績	伸率	増減	通期実績	伸率	増減	上期予想	伸率	増減	通期予想	伸率	増減
シャッター関連事業	26,405	113.1%	3,054	64,608	124.4%	12,685	28,200	106.8%	1,795	65,400	101.2%	792
建材関連事業	31,744	103.2%	974	75,551	105.1%	3,658	34,300	108.0%	2,556	77,600	102.7%	2,049
サービス事業	9,876	112.9%	1,126	23,477	119.1%	3,766	10,950	110.9%	1,074	26,500	112.9%	3,023
リフォーム事業	3,081	77.4%	△ 898	6,955	86.2%	△ 1,117	3,550	115.2%	469	7,450	107.1%	495
その他事業	1,782	108.4%	138	4,069	103.9%	152	2,000	112.2%	218	5,050	124.1%	981
合計	72,890	106.4%	4,393	174,661	112.3%	19,146	79,000	108.4%	6,110	182,000	104.2%	7,339

## 【営業利益】

シャッター関連事業	2,251	117.5%	336	7,872	140.5%	2,267	2,100	93.3%	△ 151	7,500	95.3%	△ 372
建材関連事業	△ 78	-	△ 396	1,155	66.9%	△ 571	200	-	278	1,200	103.9%	45
サービス事業	1,067	149.1%	352	3,843	168.2%	1,558	1,200	112.4%	133	4,500	117.1%	657
リフォーム事業	△ 53	-	△ 122	86	41.7%	△ 121	20	-	73	100	115.7%	14
その他事業	103	103.4%	3	231	120.8%	39	120	115.6%	17	300	129.8%	69
配賦不能額	1,577	98.6%	△ 22	3,386	105.4%	172	1,640	103.9%	63	3,600	106.3%	214
合計	1,712	112.7%	193	9,801	144.1%	3,000	2,000	116.8%	288	10,000	102.0%	199

## 【受注残高】

シャッター関連事業	26,958	124.6%	5,321	25,129	114.8%	3,246	27,600	102.4%	642	25,000	99.5%	△ 129
建材関連事業	44,518	106.0%	2,527	38,548	107.7%	2,742	44,800	100.6%	282	40,000	103.8%	1,452
サービス事業	3,542	148.4%	1,155	2,929	141.5%	858	3,800	107.3%	258	2,800	95.6%	△ 129
リフォーム事業	1,489	111.8%	157	1,098	124.9%	219	1,500	100.7%	11	1,300	118.4%	202
その他事業	1,290	124.7%	256	2,494	311.4%	1,693	2,800	217.1%	1,510	2,900	116.3%	406
合計	77,800	113.8%	9,417	70,201	114.3%	8,760	80,500	103.5%	2,700	72,000	102.6%	1,799

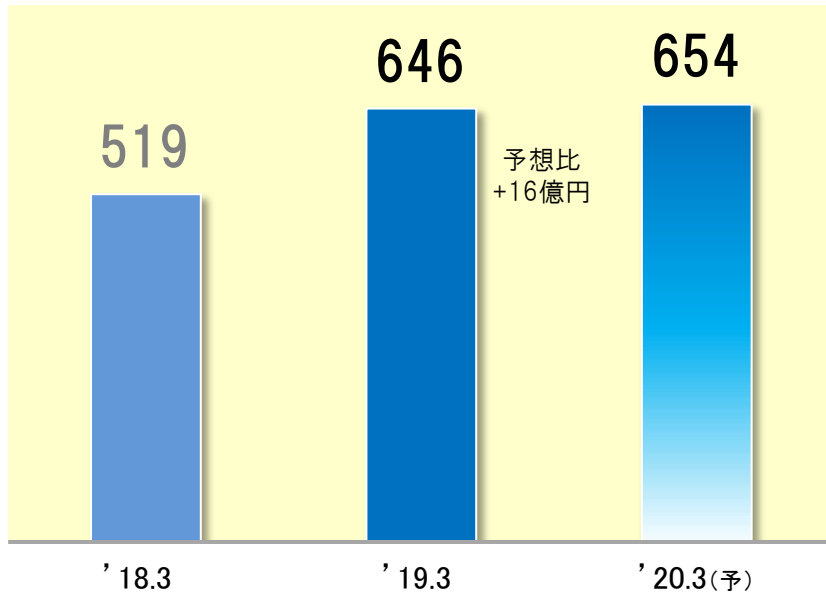
## 【受注高】

シャッター関連事業	31,481	120.5%	5,349	67,854	123.5%	12,904	30,670	97.4%	△ 811	65,270	96.2%	△ 2,584
建材関連事業	40,457	104.5%	1,752	78,294	106.3%	4,652	40,551	100.2%	94	79,051	101.0%	757
サービス事業	11,347	120.6%	1,940	24,336	121.4%	4,284	11,820	104.2%	473	26,370	108.4%	2,034
リフォーム事業	3,691	93.4%	△ 262	7,174	94.5%	△ 419	3,951	107.0%	260	7,651	106.6%	477
その他事業	2,271	122.6%	418	5,762	148.1%	1,871	2,305	101.5%	34	5,455	94.7%	△ 307
合計	89,250	111.5%	9,197	183,422	114.5%	23,293	89,298	100.1%	48	183,798	100.2%	376

# 重点施策の進捗状況について

---

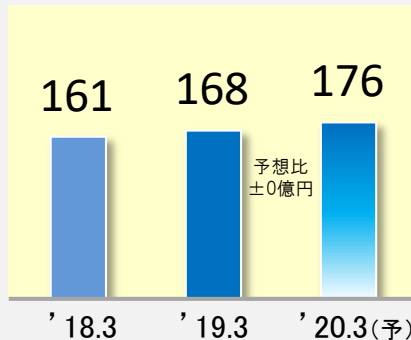
「シャッター事業」売上高(億円)



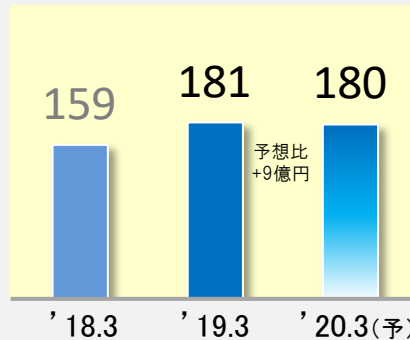
## ◆シャッター事業

- ・19年3月期は、
  - ①自然災害の対応を含め、軽量シャッターが大きく伸びたこと
  - ②主に工場とオフィスビル向けの重量シャッターが好調に推移したこと
  - ③BX BUNKA AUSTRALIAの住宅向けガレージドアの売上が寄与したこと
 以上の結果、売上高は前期比127億円増の646億円となった。
- ・20年3月期は、東京五輪関連施設や再開発物件等の非住宅向けの受注残を背景に、売上高は前期比8億円増の654億円を見込む。

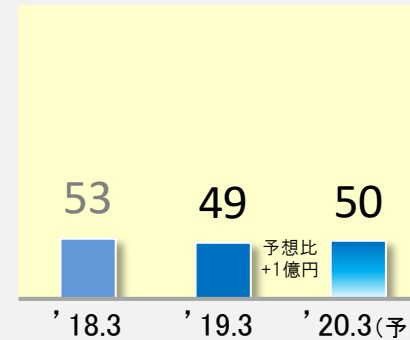
「重量シャッター」売上高



「軽量シャッター」売上高

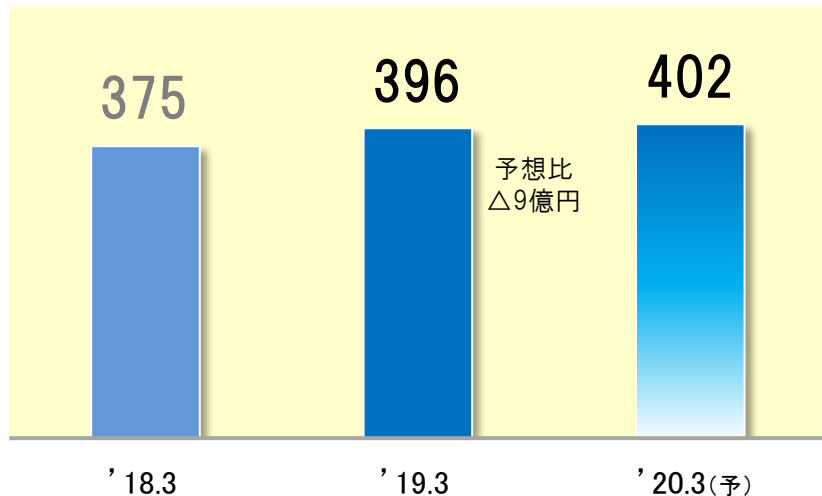


「窓シャッター」売上高

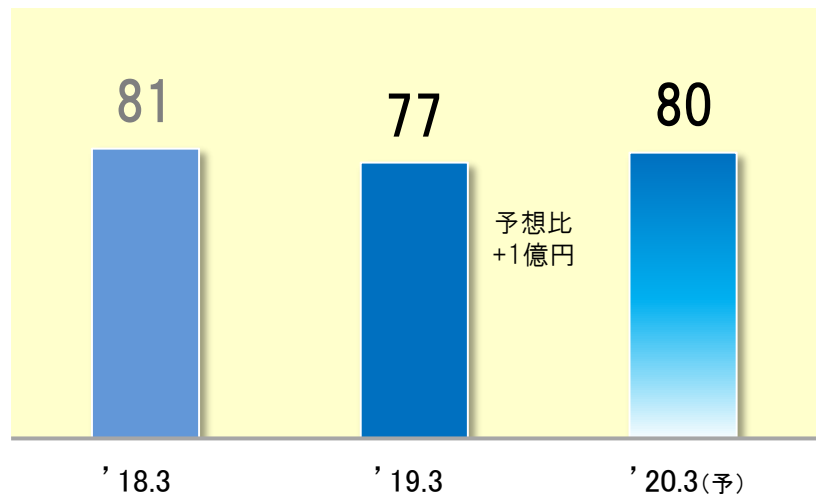


2018年10月より販売を開始した工場・倉庫向け高耐風圧仕様のオーバースライディングドア

「ドア事業」売上高(億円)



「パーティション事業」売上高(億円)

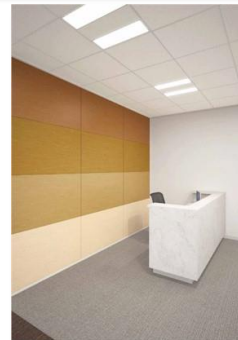


◆ドア事業

- ・19年3月期は、「医療・福祉施設」向けが減少したものの、新規連結子会社としてBXルーテスの売上が寄与した結果、売上高は前期比21億円増の396億円となった。
- ・20年3月期は、東京五輪関連施設や再開発物件等の非住宅向けの市場環境を背景に、メインの商材である「スチールドア」の収益拡大と、安定した供給体制の整備を、4月に新設したスチールドア部が早急に押し進めることで、売上高は前期比6億円増の402億円を見込む。

◆パーティション事業

- ・19年3月期は、「オフィスビル」向けが好調な一方で、「学校施設」向けが低調に推移した結果、売上高は前期比4億円減の77億円となった。
- ・20年3月期は、再開発物件や建て替え需要を取り込むことで受注拡大を押し進め、売上高は前期比3億円増の80億円を見込む。

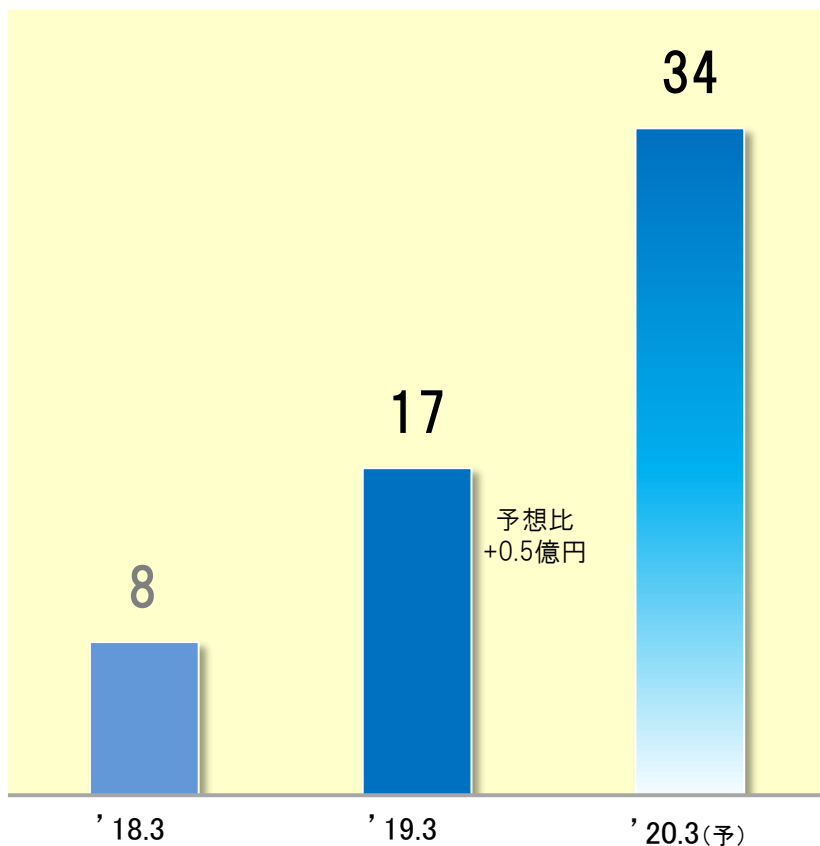


遮音性・気密性が求められる場所に  
適したバリアフリー対応の引き戸  
「カムスライダー遮音タイプ」  
(写真左)

高い意匠性が特徴のオフィスビル  
向けパネル式可動間仕切  
「プレウォールフィット」  
(写真右)



「エコ&防災事業」売上高(億円)



## ◆エコ&防災事業

- ・19年3月期は、(株)エコウッドによる再生複合材(エコ事業)の売上分を追加したことと、止水商品(防災事業)の売上が堅調に推移したことで、売上高は前期比9億円増の17億円となった。
- ・20年3月期は、エコ事業については(株)エコウッドとの連携により、再生複合材「テクモク」の売上拡大を図る。防災事業では、法人顧客へのBCP対策の提案等に注力することで、止水事業の強化拡充を図る。

以上を踏まえ、エコ&防災事業の売上高は、前期比17億円増の34億円を見込む。

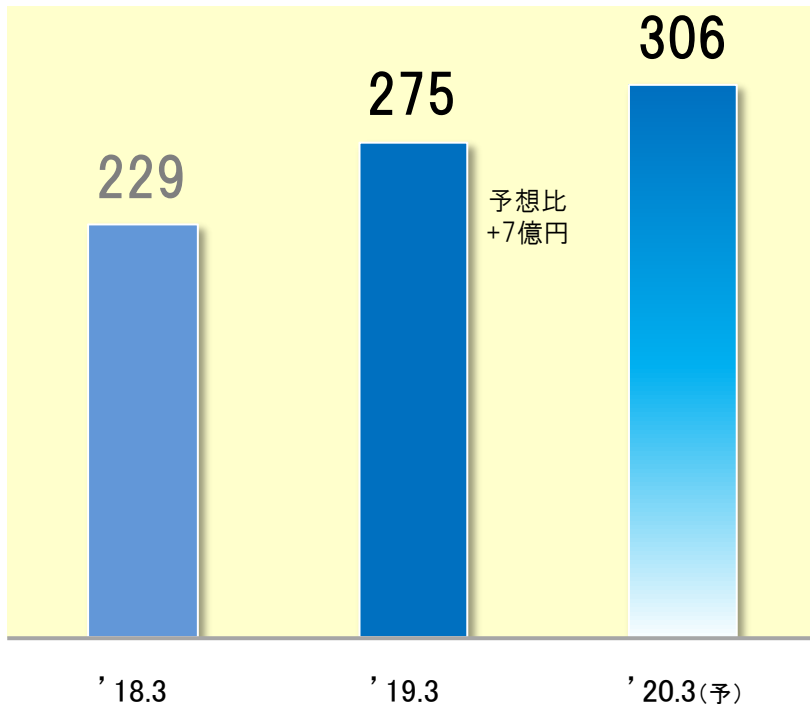


再生複合材「テクモク」の施工例(デッキ)



浸水状況を屋内から確認できる小窓付きの止水ドア「アクアードライト」

「メンテナンス事業」売上高(億円)

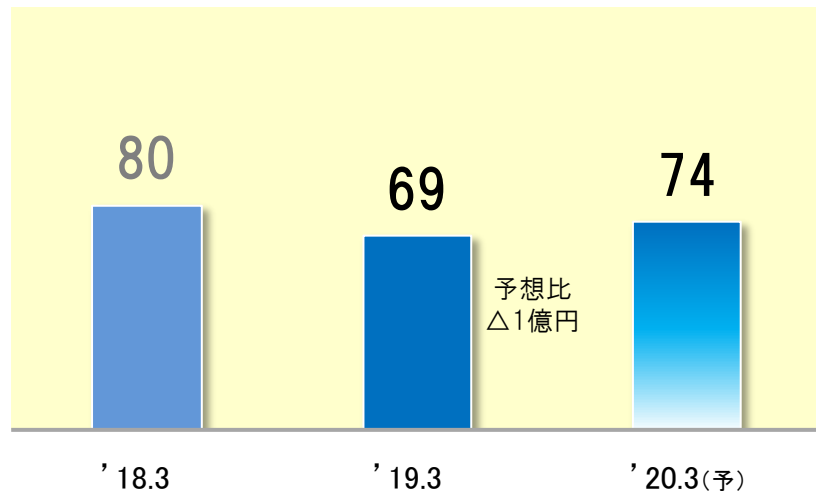


## ◆メンテナンス事業

- ・19年3月期は、大型台風によるシャッターの修理対応と、法定点検の売上増が寄与し、売上高は前期比46億円増の275億円となった。
- ・20年3月期は、3年間の経過措置内に未実施となった対象も含め、防火設備の法定点検が本格運用されることを背景に、売上高は前期比31億円増の306億円を見込む。



「ロングライフ事業」売上高(億円)

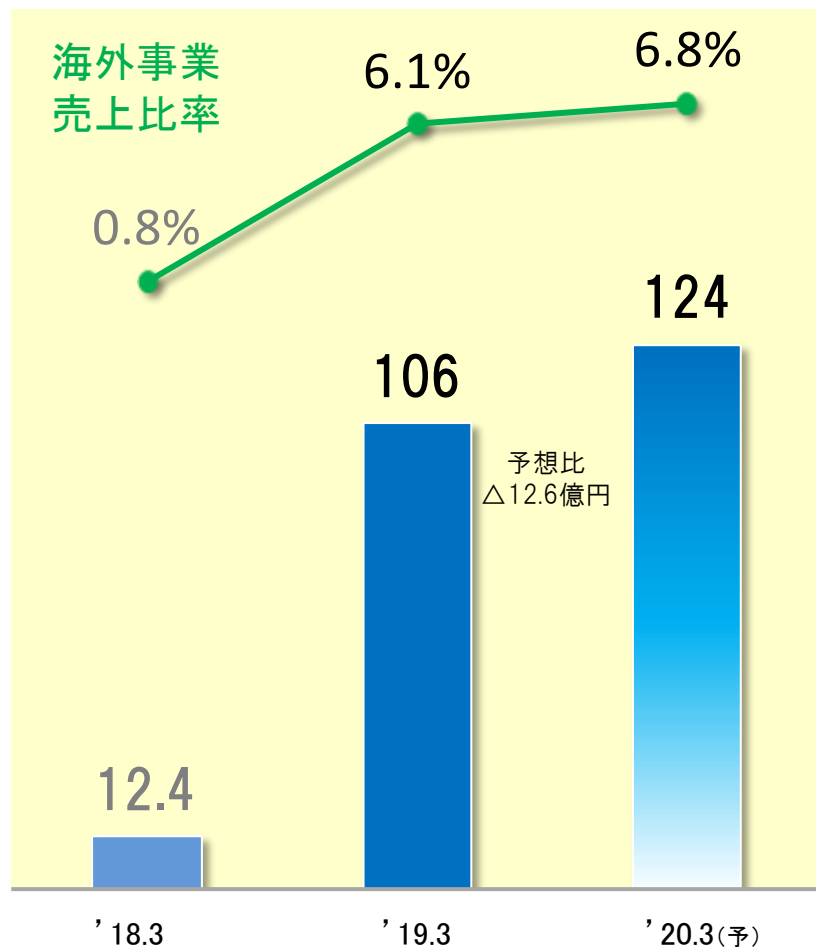


マンションビルのリニューアル工事

## ◆ロングライフ事業

- ・19年3月期は、住宅リフォーム業界における競争激化の影響と、ビルリニューアル事業の受注減少により、売上高は前期比11億円減の69億円となった。
- ・住宅リフォーム事業については、チラシ・webでの顧客獲得を中心に、メーカー、商社と協働して、水まわり商品を拡販し、「首都圏で施工品質・売上No.1」を達成する。
- ・ビルリニューアル事業については、マンションの大規模改修をはじめ、これまで手がけてきた耐震改修案件をモデルケースとして受注拡大を図る。  
以上の施策により、20年3月期の売上高は前期比5億円増の74億円を見込む。

「海外事業」売上高(億円)



## ◆海外事業

- ・19年3月期は、BX BUNKA AUSTRALIAを連結子会社にしたことで、売上高は前期比94億円増の106億円となった。
- ・オーストラリアでは今後、新築住宅市場の大幅な伸びが見込めないことから、住宅リフォームによるガレージドア取り替え需要の他に、非住宅市場への展開を見据え、売上の拡大を図る。
- ・ベトナムを中心としたASEAN市場では引き続き、国外の大型物件を始め、樹脂サッシ最大手のEUROWINDOWとの連携強化を図り、国内についてはローカル物件の受注拡大を推し進める。

以上の施策により、20年3月期の海外事業全体の売上高は、前期比18億円増の124億円を見込む。



住宅向けガレージドア(オーストラリア)



ショッピングモールに採用された電動引戸(カンボジア)

# トピックス

---

## ◆新商品

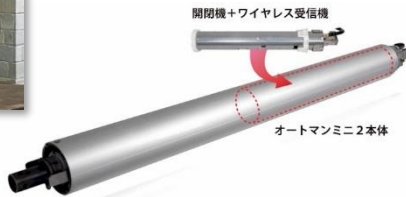
～シャープ製HEMSとの連携第2弾～

「オートマンミニ2」と「ブリエユBモデル」が連動

12月18日より  
連携開始



外付けブラインド  
「ブリエユBモデル」



後付電動化キット  
「オートマンミニ2」

### <特徴>

- ・外出先からスマホ操作による電動窓シャッターの開閉が可能
- ・気象特別警報および気象警報に連動し、警報発令後に自動で電動窓シャッターが閉鎖
- ・手動の窓シャッターを「オートマンミニ2」で簡単に電動化

～シャープ製HEMSとの連携第3弾～

ロボホンとの連動で  
電動窓シャッターを開閉操作

2月27日より  
連携開始



「ロボホン」による開閉操作イメージ

### <特徴>

- ・宅内において「ロボホン」との音声対話による窓シャッターの開閉操作が可能
- ・外出時および帰宅時に、全ての電動窓シャッターの全開または全閉操作が可能

ガレージシャッター2商品を  
全面リニューアル

4月より  
全国発売開始



ガレージシャッター  
「エスプリ」



軽量アルミガレージシャッター  
「小町様」

### <特徴>

- ・上昇時スピードが約2倍で快適性が向上
- ・二重の安全装置で安全性に配慮
- ・防火設備に対応した木目鋼板を採用（エスプリのみ）
- ・手動切替レバーで停電時でも簡単にシャッターを開放

## 參考資料

---

- 経営理念 「私たちは、常にお客様の立場に立って行動します」  
「私たちは、優れた品質で社会の発展に貢献します」  
「私たちは、積極性と和を重んじ日々前進します」
- 概 要 文化シャッター株式会社及び連結子会社25社(2019年4月現在)
- 事 業 シャッター事業、ビル建材事業、住宅建材事業、リフォーム事業、  
リニューアル事業、保守・点検・サービス事業、他
- 拠 点 340営業拠点 129サービス拠点 30工場(2019年4月現在)
- 従業員数 4, 639名(2019年3月末現在)

## 【文化シャッター株式会社(単体)】

代表者 代表取締役社長 執行役員社長 潮崎 敏彦

設 立 1955年(昭和30年)4月18日

資本金 15, 051百万円

本 社 東京都文京区西片1-17-3



## 文化シャッター（株）

### シャッター関連製品事業

「電動開閉機」製造・販売

**BX新生精機（株）**

「オーニング」製造・販売

**BXテンパール（株）**

「シャッター」製造・販売

**BX沖縄文化シャッター（株）**

「シャッター」販売

**文化シャッター秋田販売（株）**

**文化シャッター高岡販売（株）**

(※3)

### 建材関連製品事業

「ドア」「パーティション」製造

**BX文化パネル（株）**

**BX中央工業（株）**(※1)

「ドア」製造

**BXケンセイ（株）**

**BX鐵矢（株）**

**BX東北鐵矢（株）**

**BX朝日建材（株）**

**BXルーテス（株）**

「建築金物」製造・販売

**BXカネシン（株）**

「ドア」「スライディングウォール」製造・販売

**BXティアール（株）**

「ステンレス建材」製造・販売

**BX紅雲（株）**

「建築材料」製造・販売

**BX西山鉄網（株）**

「環境建材(再生複合材)」製造・販売

**(株)エコウッド**

### サービス事業

「シャッター・ドア等の修理・点検」

**文化シャッターサービス（株）**

### リフォーム事業

「住宅リフォームの設計・施工・請負」

**BXゆとりリフォーム（株）**

### その他事業

「注文家具」製造・販売

**BX文化工芸（株）**

「損害保険代理業」

**BXあいわ（株）**

「建築構造設計」

**BX TOSHO（株）**

### ＜海外事業展開＞

「シャッター」「ドア」「オーニング」製造・販売

**BX BUNKA VIETNAM Co.,Ltd.**

「樹脂サッシ」「アルミサッシ」製造・販売

**EUROWINDOW., JSC** (※2)

(ベトナム)

「ガレージドア」製造・販売・施工・アフターメンテナンス

**BX BUNKA AUSTRALIA PTY LTD**

**Steel-Line Garage Doors Australia**

**Steel-Line Installations Australia**

**Steel-Line Garage Doors (WA)**

**Dynamic Door Service**

(オーストラリア)

### ＜その他＞

「ビル用サッシ他」製造・販売

**不二サッシ（株）グループ**

(※2)

※1 非連結子会社で持分法非適用会社

※2 関連会社で持分法適用会社

※3 関連会社で持分法非適用会社

# 連結貸借対照表

(単位: 百万円、%)

	2018年3月期		2019年3月期		増減	
		構成比		構成比		前期末比
<b>流動資産</b>	<b>85,213</b>	<b>55.4</b>	<b>93,300</b>	<b>57.6</b>	<b>8,087</b>	<b>109.5</b>
現金・預金	20,017	13.0	24,308	15.0	4,291	121.4
受取手形・売掛金	45,683	29.7	46,356	28.6	673	101.5
たな卸資産	16,537	10.8	18,896	11.7	2,359	114.3
その他	2,974	1.9	3,737	2.3	763	125.7
<b>固定資産</b>	<b>68,564</b>	<b>44.6</b>	<b>68,784</b>	<b>42.4</b>	<b>220</b>	<b>100.3</b>
土地	11,540	7.5	12,321	7.6	781	106.8
投資有価証券	18,642	12.1	18,301	11.3	△ 341	98.2
その他の投資・資産	2,559	1.7	2,575	1.6	16	100.6
その他	35,823	23.3	35,587	21.9	△ 236	99.3
<b>資産合計</b>	<b>153,778</b>	<b>100.0</b>	<b>162,085</b>	<b>100.0</b>	<b>8,307</b>	<b>105.4</b>
<b>流動負債</b>	<b>58,522</b>	<b>38.1</b>	<b>54,959</b>	<b>33.9</b>	<b>△ 3,563</b>	<b>93.9</b>
支払手形・買掛金	32,143	20.9	33,363	20.6	1,220	103.8
短期借入金	11,700	7.6	3,556	2.2	△ 8,144	30.4
その他	14,679	9.5	18,040	11.1	3,361	122.9
<b>固定負債</b>	<b>25,059</b>	<b>16.3</b>	<b>32,946</b>	<b>20.3</b>	<b>7,887</b>	<b>131.5</b>
転換社債型新株予約権付社債	-	-	10,000	6.2	10,000	-
長期借入金	3,350	2.2	1,268	0.8	△ 2,082	37.9
退職給付に係る負債	18,351	11.9	18,881	11.6	530	102.9
その他	3,358	2.2	2,797	1.7	△ 561	83.3
<b>負債合計</b>	<b>83,582</b>	<b>54.4</b>	<b>87,905</b>	<b>54.2</b>	<b>4,323</b>	<b>105.2</b>
<b>純資産合計</b>	<b>70,195</b>	<b>45.6</b>	<b>74,179</b>	<b>45.8</b>	<b>3,984</b>	<b>105.7</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>153,778</b>	<b>100.0</b>	<b>162,085</b>	<b>100.0</b>	<b>8,307</b>	<b>105.4</b>

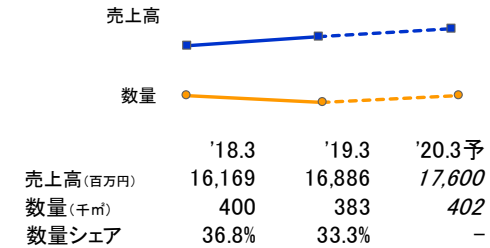
1株当たり純資産	979円11銭	1,032円44銭
期末株価	1,033円	802円
PBR(株価純資産倍率)	0.95	0.78

# 連結キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	増減
<b>1. 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>5,990</b>	<b>11,473</b>	<b>5,483</b>
税金等調整前当期純利益	5,557	10,882	5,325
減価償却費	2,708	3,072	364
売上債権の増減額(△は増加)	△ 2,307	△ 256	2,051
仕入債務の増減額(△は減少)	1,575	830	△ 745
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 2,431	△ 2,030	401
法人税等の支払額	△ 2,558	△ 2,026	532
その他	3,446	1,001	△ 2,445
<b>2. 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 12,782</b>	<b>△ 4,450</b>	<b>8,332</b>
投資有価証券の取得による支出	△ 519	△ 435	84
有形固定資産の売却による収入	148	43	△ 105
有形固定資産の取得による支出	△ 3,704	△ 2,508	1,196
無形固定資産の取得による支出	△ 659	△ 606	53
その他	△ 8,048	△ 944	7,104
<b>3. 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>4,311</b>	<b>△ 2,756</b>	<b>△ 7,067</b>
短期借入金の純増減額 (△は減少)	8,500	△ 8,500	△ 17,000
長期借入金の返済による支出	△ 2,200	△ 2,270	△ 70
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	-	9,967	9,967
配当金の支払額	△ 1,434	△ 1,431	3
その他	△ 555	△ 522	33
<b>4. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>△ 2,482</b>	<b>4,242</b>	<b>6,724</b>
<b>5. 現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>20,860</b>	<b>18,377</b>	<b>△ 2,483</b>
<b>6. 現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>18,377</b>	<b>22,620</b>	<b>4,243</b>

## <重量シャッター>

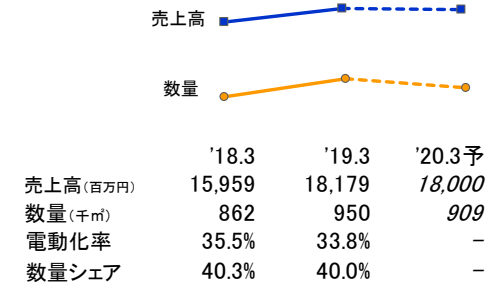


※数量シェアは、(社)日本シャッター・ドア協会の生産数量をもとに算出



- ◆ 19.3期の売上高は、前期比4.4%増。
- ◆ 20.3期の売上高は、前期比4.2%増の176億円を計画。

## <軽量シャッター>

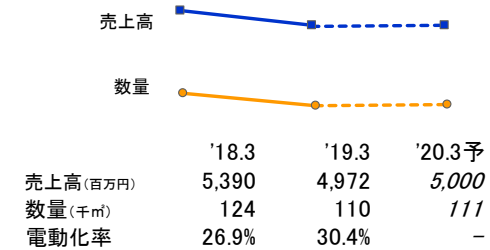


※数量シェアは、(社)日本シャッター・ドア協会の生産数量をもとに算出



- ◆ 19.3期の売上高は、前期比13.9%増。
- ◆ 20.3期の売上高は、前期比1.0%減の180億円を計画。

## <窓シャッター>



- ◆ 19.3期の売上高は、前期比7.8%減。
- ◆ 20.3期の売上高は、前期比0.6%増の50億円を計画。

## <ドア>



	'18.3	'19.3	'20.3 予
売上高(百万円)	35,376	35,085	35,500



- ◆ 19.3期の売上高は、前期比0.8%減。
- ◆ 20.3期の売上高は、前期比1.2%増の355億円を計画。

## <パーティション>



	'18.3	'19.3	'20.3 予
売上高(百万円)	8,159	7,718	8,000



- ◆ 19.3期の売上高は、前期比5.4%減。
- ◆ 20.3期の売上高は、前期比3.6%増の80億円を計画。

## <エクステリア>



	'18.3	'19.3	'20.3 予
売上高(百万円)	8,058	8,536	8,800

※横引雨戸を含めた金額で表示しています。



- ◆ 19.3期の売上高は、前期比5.9%増。
- ◆ 20.3期の売上高は、前期比3.1%増の88億円を計画。

## 問い合わせ先

文化シャッター株式会社 経営企画部広報室 曾根、小林

TEL03-5844-7150 FAX03-5844-7141

E-mail [bxinfo@mail.bunka-s.co.jp](mailto:bxinfo@mail.bunka-s.co.jp)

<http://www.bunka-s.co.jp/>